



平成 24 年 10 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社テークスグループ
(旧社名 株式会社東京衡機製造所)
代表者名 代表取締役社長 山本 勝三
(コード番号 7719 東証第2部)
問合せ先 取締役副社長 平岡 昭一
(TEL. 042-780-1650)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24 年 4 月 13 日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

(1)平成 25 年 2 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	2,498	△17	△32	△45	円 銭 △0 64
今回修正予想(B)	2,500	△83	△105	△131	円 銭 △1 84
増減額(B-A)	2	△66	△73	△86	—
増減率(%)	0.0	-	-	-	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 24 年 2 月期第 2 四半期)	1,974	△179	△208	△238	円 銭 △3 34

(2)平成 25 年 2 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	1,354	23	26	21	円 銭 0 30
今回修正予想(B)	1,272	33	40	35	円 銭 0 50
増減額(B-A)	△82	10	14	14	—
増減率(%)	△6.0	43.4	53.8	66.6	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 24 年 2 月期第 2 四半期)	988	△101	△99	△113	円 銭 △1 59

(3)平成 25 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期 純利益
前回発表予想(A)	5,384	116	86	65	円 銭 0 91
今回修正予想(B)	5,129	26	△9	△41	円 銭 △0 58
増減額(B-A)	△255	△90	△95	△106	—
増減率(%)	△4.7	△77.5	—	—	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 24 年 2 月期)	4,538	△263	△320	△783	円 銭 △10 98

(4)平成 25 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期 純利益
前回発表予想(A)	2,773	73	79	70	円 銭 0 99
今回修正予想(B)	2,603	98	108	98	円 銭 1 38
増減額(B-A)	△170	25	29	28	—
増減率(%)	△6.1	34.2	36.7	40.0	—
(ご参考)前年同期実績 (平成 24 年 2 月期)	2,221	△205	△193	△638	円 銭 △8 94

2. 修正の理由および今後の見通し

平成 25 年 2 月期第 2 四半期累計期間の連結業績につきましては、試験機事業は前連結会計年度での受注環境の改善が売上高の増加に寄与し、当社単体ならびに子会社において好調に推移しております。また、住生活事業は新規商材の販売時期のずれや中国子会社における欧州経済の低迷の影響などから売上高は前年同期並みとなる見込みですが、ゆるみ止めナット事業は一部計画未達の商品があるものの、他の商品の売上でそれを補い売上高は前年同期を大幅に上回る見込であります。一方、損益面では試験機事業の製造原価が安定したことによる粗利改善や販売費及び一般管理費の削減があるものの、住生活事業の売上計画未達による粗利の減少や、ゆるみ止めナット事業においてハイパーロードナットの生産数量不足等により原価低減が進まず粗利が大幅未達と見込まれることなどから業績予想を修正いたします。

平成 25 年 2 月期通期の連結業績予想につきましては、今後の経済情勢など不透明な面がありますが、第 2 四半期累計期間の状況を踏まえ修正いたします。

以 上